

COHEN & MONSTIER's favorite collection



1.カラフルなトレイはデンマークのインテリアブランド、HAYのKALEIDO。パズルのように重ねたり組み合わせたりして使えます。2.コーエン部のダイニングの壁に掛けられていた吊り下げる棚は、フランスのカジュアルなファッションブランドBENSMONで購入。3.マーシャルの生誕50周年を記念して発売されたスピーカー、HANWELL。iPhone、iPadなども接続可能で、コンパクトでありながら本格的なサウンドを楽しめます。4.可愛いしやりの瓶皿や紙コップはモネステイエ部の息子が主宰するネットショップ、MY LITTLE DAYで購入できるそう。日本のショップにも卸しているそうで、どこかで出会えるかも!? 5.コーエン部の長男の部屋に飾られていたゾウのぬいぐるみ。他にクマもあり、BONTONの人気アイテムです。6.メラミン素材のカラフルな食器は、子供のパーティーやピクニックにぴったり。こちらもフランスのBONTONで扱っているもの。7.フィンランドのデザイナー、エーロ・アルネオが1968年にデザインしたバルチェアは、コーエン夫妻のお気に入り。8.イタリアのメーカー-SMEG社の冷蔵庫はフランスで大人気。一種のステータスシンボルともなっているとか。1950年代のレトロなデザインとカラフルな色/リレーションが魅力です。コーエン家ではキッチンチーマカラーの色を選択。9.モネステイエ部のキッチンに掛けられていたシックな色のキッチンクロスもBONTONのもの。BONTONはフランスでも日本で大人気です。

子供と大人のスペースの分け方はさすがフランス

コーエンさんもモネステイエさんも今どきのブルジョア・ボヘミアンを地でいくファミリー。広々とした邸宅に暮らしながら、インテリアには特定のスタイルとか豪華さではなく、あくまで家族がリラックスできる居心地のよさを求めています。子供が遊んだりTVを見るスペースと、家族が寛ぎ来客ももてなすリビングをわけているのも共通するところ。壁の飾り方、色づかい、古いものの取り入れ方など参考にしたいヒントがいっぱいです。

この連載に出てくる素敵なお家を募集中です!住所・氏名・電話番号(あればメールアドレスも)・家族構成を明記のうえ、お家の写真を添えて編集部まで送ってください(写真はご返却できませんのでご了承ください)。〒112-8011 東京都文京区常盤1-18-6 (株)光文社VERY編集部(日曜日の風景)係

モネステイエ部  
コーエン部のコ  
ーエン部は  
モネステイエ部  
モネステイエ部

モネステイエ部  
Stene  
No. 38





1



2

## 心落ち着く大好きな色 リラックスできる空間に

パリ郊外のブローニュの森近く、通称パリ21区もある便利な場所にありながら、森で乗馬をしたり、れる自然豊かな環境にモネステイエさんの住むアパートがあります。ご主人のお父さまが所有する1900年に建てた13年前に入居し、6年前にはさらに隣の家を購入し、ダイニングキッチン、主寝室、プレイルーム、子供たちが勉強をしたり奥さまが仕事をするスタディの広々とした空間を手に入れました。壁を塗り替え貼ったりとDIYもしながらリノベーションを手を加えてシンプル。そこにプロカントで見つけた古い家具、国のデザイナーの家具やカラフルな小物を合わせたインテリアです。モネステイエ邸のテーマカラーリビング、主寝室、プレイルーム、キッチン、それ面だけグリーンに塗っています。EMERY&CIEとVERT-BLEU-GRIS(緑一青一グレー)という色があります。とても落ち着いた色なのでと奥さま。ペンキDIY好きのご主人の担当、奥さまはミシンでひたすらるのが好きでカーテンなどファブリックアイテム担当。友人と2人で子供のパーティグッズを扱うネットショップ、自宅近くの事務所で従業員も抱えて忙しく働く中でも、平日はご主人と手分けして子供たちのかさないと。この日も、黄色のスタイリッシュを履いて、キッチンで2人の子供たちに手早く朝食した姿が。日曜日は家族揃って、近くのブローニュたり、サッカー好きなが主人とサッカーをとか。そして必ずクラブを焼いて食べるのが、モの日曜日の習慣です。

壁に心が安らぐ色をリフレインすることで、家族が作り上げたモネステイエさん。忙しいからこそ、自ごす時間や空間を大切にする姿、見習いたいもの

### モネステイエ邸 data

パリ郊外のブローニュの森近く、通称パリ21区もある便利な場所にありながら、森で乗馬をしたり、れる自然豊かな環境にモネステイエさんの住むアパートがあります。ご主人のお父さまが所有する1900年に建てた13年前に入居し、6年前にはさらに隣の家を購入し、ダイニングキッチン、主寝室、プレイルーム、子供たちが勉強をしたり奥さまが仕事をするスタディの広々とした空間を手に入れました。壁を塗り替え貼ったりとDIYもしながらリノベーションを手を加えてシンプル。そこにプロカントで見つけた古い家具、国のデザイナーの家具やカラフルな小物を合わせたインテリアです。モネステイエ邸のテーマカラーリビング、主寝室、プレイルーム、キッチン、それ面だけグリーンに塗っています。EMERY&CIEとVERT-BLEU-GRIS(緑一青一グレー)という色があります。とても落ち着いた色なのでと奥さま。ペンキDIY好きのご主人の担当、奥さまはミシンでひたすらるのが好きでカーテンなどファブリックアイテム担当。友人と2人で子供のパーティグッズを扱うネットショップ、自宅近くの事務所で従業員も抱えて忙しく働く中でも、平日はご主人と手分けして子供たちのかさないと。この日も、黄色のスタイリッシュを履いて、キッチンで2人の子供たちに手早く朝食した姿が。日曜日は家族揃って、近くのブローニュたり、サッカー好きなが主人とサッカーをとか。そして必ずクラブを焼いて食べるのが、モの日曜日の習慣です。

1. 白いキッチンにはIKEA、奥さまはキッチンに出ているのが嫌なのでいつもスキリしているそう。朝食はアイランドカウンターで頂きます。の壁もお気に入りのグリーン。アーチ型の書棚の前にはバルセロナチェア



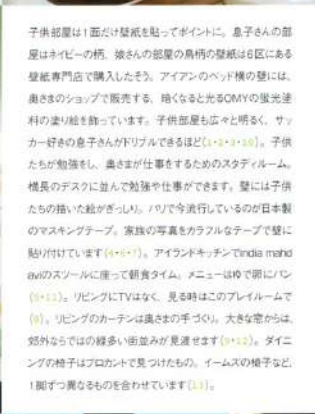
6



7



8



13



11



9



12

